

世界の森林の現状

世界の森林面積は約40.3億ヘクタールで、全陸地面積の約31%を占めています。しかし、世界の森林は減少を続けており、毎年520万ヘクタールが減少しています(2000年から2010年までの平均)。

特に、南アメリカ、アフリカなどの熱帯の森林を中心に、減少面積が大きくなっています。一方、中国やインド、ベトナムを中心とした温帯林では、森林面積が増加している国も見られ、森林面積の増加と減少には、地域的な偏りが見られます。

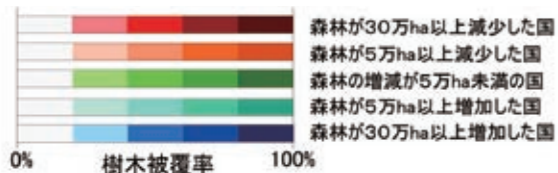
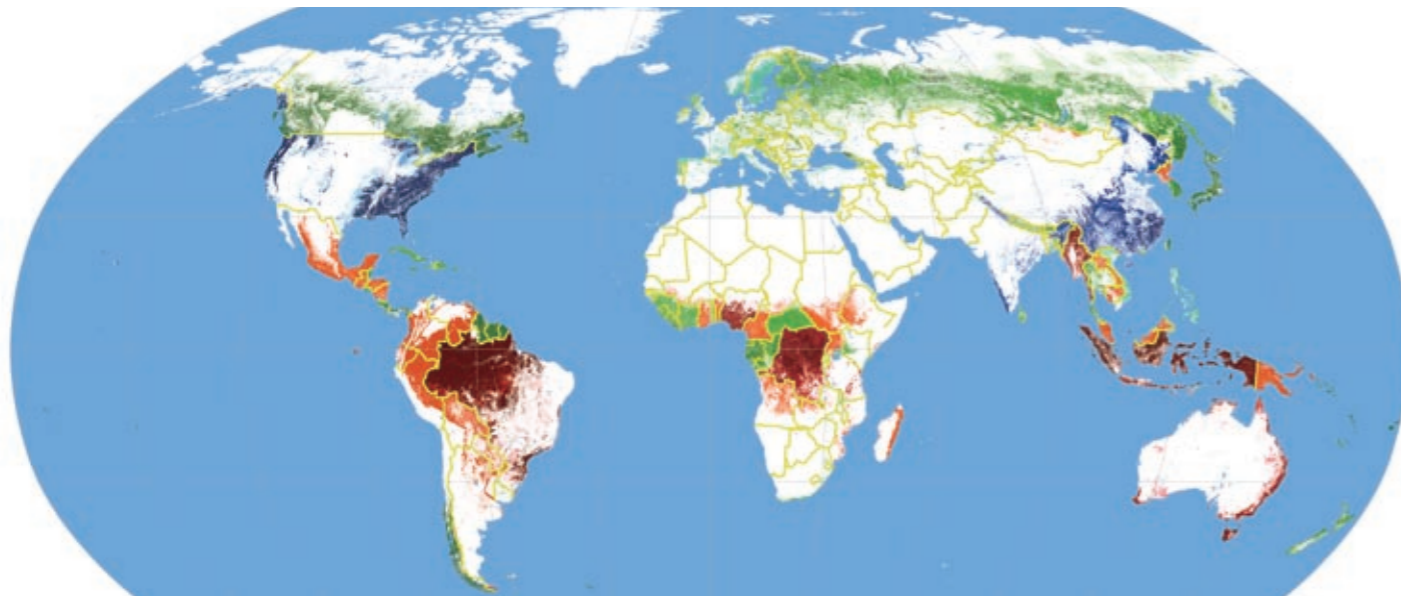
国別にみると、2000年から2010年までの間に

森林の減少が大きかったのは、ブラジル、オーストラリア、インドネシア、ナイジェリアなどです。

このうち、オーストラリアの減少は、2000年以降の深刻な干ばつや森林火災などが原因ですが、その他の国では農地への転用や薪の過剰採取などが原因です。

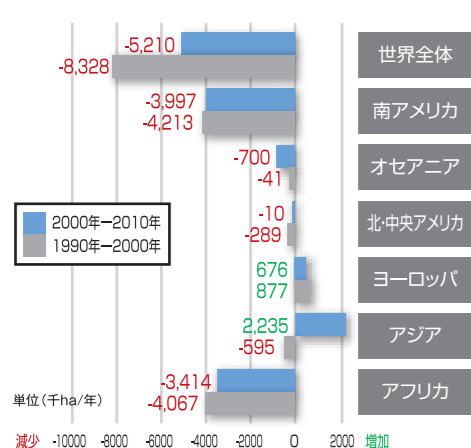
一方、温帯地域の中国やインド、ベトナムなどのように、植林活動が活発なため森林面積が増加している国も見られます。

世界の森林面積の年当たり国別純変化量(2000~2010)

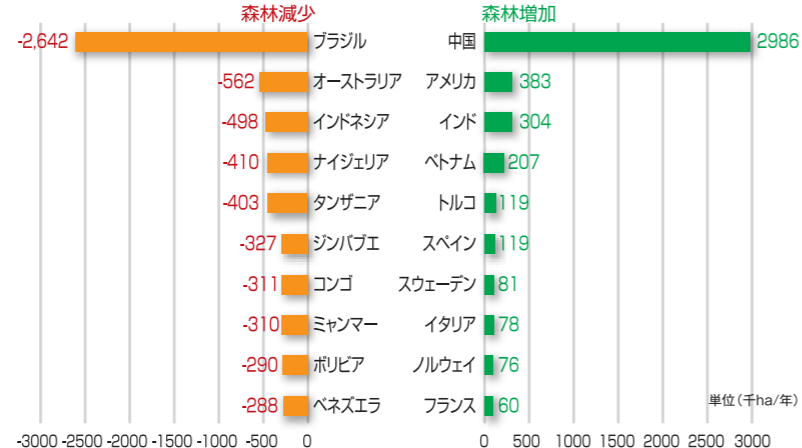


※凡例の濃淡は樹木の被覆率0~100%を表します。
資料提供: 国土地理院(地球地図樹木被覆率、国連食糧農業機関森林統計使用)

世界の森林面積の年平均の増減
(地域別、1990~2010)



森林面積の変化の大きな国10ヶ国
(国別、2000~2010)



資料: 国連食糧農業機関「森林資源評価2010」

森林減少・劣化と違法伐採

森林減少・劣化の原因

土地利用の転換



世界的な食料やバイオ燃料等の需用増加により、森林を伐採してオイルパームのプランテーションやサトウキビ農園、牧場へ転換する土地利用の転換が増加しています。

非伝統的な焼き畑農業の増加



焼き畑農業は、焼き払った森林を数年程度農地として利用した後自然の回復力で森林に戻すというサイクルを繰り返す伝統的な農法ですが、近年、人口増加などにより、森林が回復しないうちに再び焼いて土地が劣化し、森林が再生しなくなってしまうことが問題となっています。

燃料用木材の過剰な採取



世界の木材需要の約半分は燃料としての利用です。特にアフリカでは木材需要の約9割が燃料として使用されており、人口増加に伴い、森林減少が進んでいます。

森林火災



焼き畑農業、農地開発のための火入れなどの火の不始末、落雷、干ばつや猛暑などが原因となり、森林火災が発生し、森林が焼失しています。泥炭や永久凍土がむき出しになることにより土壌から発生する二酸化炭素も問題となっています。

違法伐採問題

森林を保全するためには、持続可能な森林経営が不可欠ですが、その阻害要因として違法伐採問題が指摘されています。また、違法伐採された木材の多くは、丸太または木材製品となって外国へ輸出されています。

違法伐採とは?

それぞれの国の法律に反して行われる伐採

- 例) 森林計画等に定められた伐採量、指定樹種・径級、伐採方法等を守らない伐採
 - ・所有権、伐採権がない森林を伐採するいわゆる盗伐
 - ・保護地域等を定めた法令を守らない伐採 等
- このほか、先住民等の伝統的権利、伐採労働者の安全、税務上の観点からの問題点が指摘される場合もあります。

違法伐採の割合

- ・英国とインドネシアとの共同研究(1999年): インドネシアでの伐採の50%が違法
- ・環境NGOの調査(2000年): ロシアでの伐採の20%が違法

違法伐採の影響

- ・木材生産国における持続可能な森林経営を阻害し、森林減少・劣化をもたらす
- ・正当なコストを支払っていない違法伐採木材・木材製品が国際市場で不当に安価で流通することにより、輸入国の持続可能な森林経営を阻害する 等

(全米林産物製紙協会(AF&PA, 2004年)は、違法伐採された木材・木材製品は世界の木材流通価格を7-16%も押し下げていると報告しています。)